

地域計画座談会への参加

農委会名：菊陽町農業委員会

1 地域の概要

当町は、熊本市の北東部に位置し、恵まれた土壌と整備された農地を活用して、多彩な農産物が生産されている。その中でも国の産地指定を受けているニンジンが特産であり、その生産量は県内1位となっている。

経営規模を拡大し他産業並みの所得をあげている優れた農業経営者も多く育ってきており、農業後継者となる若者の就農もみられる。

その一方で、TSMCの進出に伴う半導体関連企業や住宅等の開発が進んでおり、農業振興と企業進出の両立に向けた取組みが急務となっている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 9人（うち認定5人、女性2人）
- (2) 推進委員数 9人（うち認定5人、女性0人）
- (3) 事務局体制 3人（うち専任2人、兼任1人）

3 掲げた目標

地域計画座談会への参加

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

令和6年度末までに策定が必要な農業地域計画について、目標地図の素案にもとづき、地域農業者との意見交換を行うことで計画の精度向上を目指す。



5 取組みの成果

日中の開催にも関わらず、農業委員3名、農地利用最適化推進委員4名が参加し、地域計画目標地図の精度向上を図った。

結果として令和6年度末で6地区1, 292haの農地を対象にした地域計画が策定された。

6 課題と今後の方針等

- (1) 目標地図が現況ベースであり、更なる精度の向上が必要
- (2) モデル地区の取組み経験を活かした、町との連携